

公益社団法人 日本地下水学会
2026 年度 第 4 回 理事会議事録

1. 開催日時：2026年8月29日(土)13:30-17:00
2. 開催場所：京橋プラザ区民館 2 号室、Web 会議
3. 理事総数：15人
4. 出席理事数：14人

○：出席、×：欠席

理事	遠藤 崇浩	○※	理事	久保田 富次郎	○※
理事	阪田 義隆	○※	理事	杉田 文	○
理事	瀬尾 昭治	○	理事	高木 一成	○
理事	竹内 真司	○	理事	辻村 真貴	○※
理事	中川 啓	○※	理事	西田 憲司	○
理事	増岡 健太郎	○	理事	宮越 昭暢	○
理事	山中 勝	○※	理事	吉岡 真弓	○※
理事	吉田 広人	×			

※Web 出席
(久保田理事、阪田理事は途中から出席)

5. 出席監事数：2人

○：出席、×：欠席

監事	高坂 信章	○※	監事	五藤 幸晴	○※
----	-------	----	----	-------	----

※Web 出席

6. 議長の氏名：会長 杉田 文
代表理事 杉田 文は、上記のとおり定足数にたる理事の出席があったので、13 時 30 分本理事会の開会を宣した。
7. 代表理事の活動状況
 - ・ 2026年6月23日(火) 第28回日本水大賞・2026日本ストックホルム青少年水大賞表彰式 瀬尾副会長が会長代理として出席
8. 決議事項に特別の利害関係を有する理事の氏名：該当する理事はいない。
9. 議事録作成者：理事 増岡 健太郎

10. 理事会資料

- ・ 資料 1 : 2026年度第4回理事会議事次第
- ・ 資料 2 : 2026年度第3回理事会議事録（確定版）
- ・ 資料 a (5種) : 審議資料
- ・ 資料 b (13種) : 協議資料
- ・ 資料 c (17種) : 報告資料

【審議事項】

第1号議案：入会の承認（総務委員会：資料 a 審議_13(総)-1)

- ・ 正会員8名、準会員3名についての入会が承認された（うち、正会員1名については本人の希望に

- より2027年度からの入会)。
- ・正会員1名の2026年度末退会について確認された。

第2号議案：定款の改定について（総務委員会：資料a 審議_13(総)-2a～2d)

- ・定款第23条第2項および第24条第2項について、理事・監事の責任免除に全ての正会員の同意を要する規定を削除する改定案が示されて了承され、次回の代議員総会に諮ることが承認された。

【協議事項】

- ① 2026年春季講演会 若手優秀講演賞およびドリコ賞受賞者の件
(行事委員会：資料b協議_04(行)-1)
 - ・2026年春季講演会の若手優秀講演賞受賞者3名のうち、現行のドリコ賞規程の要件を満たす1名がドリコ賞受賞者として承認された。
 - ・今後、博士課程を対象に含めることについても意見があり、表彰委員会等で検討することとした。
- ② 会費未納会員対応について（会計委員会：資料b協議_11(会)）
 - ・長期末納会員への督促状況が報告され、3年間未納の会員については、2026年9月末までの納入を依頼し、納入がない場合は次回理事会（10月17日）で会員資格喪失を審議することを確認した。
 - ・3年間未納者に対しては自宅宛てへの内容証明郵便等で最終督促をすることとした。
- ③ 選挙管理委員会について（総務委員会：資料b協議_13(総)-1a～1f）
 - ・2027・2028年度代議員選挙に向け、選挙管理委員会の委員長、委員候補が示され了承された。内諾を得たうえで、第5回理事会にて正式に審議することとした。
- ④ 学会誌合併号について（総務委員会：資料b協議_13(総)-2a～2b）
 - ・施行細則第34条を一部修正する方向で、次回理事会に施行細則改定案を提出することとした。
 - ・次回理事会での承認後、購読会員との契約書等に必要な調整を事務局で対応することとした。
- ⑤ 会員管理サービスSMOOSYについて（総務委員会：資料b協議_13(総)-3a～3b）
 - ・会費未納者への督促メール等、SMOOSYの会員管理・一斉配信機能を活用していくことが紹介された。
 - ・行事の参加費支払いへの活用について、行事委員会、広報・IT委員会、事務局等で具体的なテストを行うこととした。
 - ・メーリングリストへの活用可能性についても確認することとした。
- ⑥ 日本水大賞受賞者との連携について（総務委員会：資料b協議_13(総)-4）
 - ・日本水大賞等で地下水に関する活動で受賞した3団体と地下水学会とをつなげる案について協議した。
 - ・2026年秋季講演会への招聘は、学会財政への影響や大会プログラムの時間配分を踏まえ、今回は見送る方向とした。一方、学会誌への紹介記事の掲載や、企画委員会と連携したオンライン講演会等の開催を検討することとした。
 - ・将来、招聘する場合は会員サービスの一環として位置づけつつ、交通費・宿泊費等の支出を可能な限り抑える方法を検討することとした。

【報告事項】

無任所：（資料なし）

- ・IAH2029について、招致に関する修正版資料を8月中旬に提出したこと、9月13日のカウンスルミーティングで説明する予定であることが報告された。採択された場合はPCO等との具体的な調整に進む見込みであることが報告された。
- ・日本地下水学会70周年記念に関するシンポジウム等を組み込む可能性について意見交換を行った。70周年記念事業については、今後WGを結成して対応することとした。

企画委員会：（資料c報告_03(企)）

- ・「現場調査法講習会／はじめての揚水試験講習会」を10月15日（オンライン）および11月17日（実習）に開催予定であり、参加申込を受付中であることが報告された。
- ・「圧密沈下を考慮した浸透流解析に関する講習会」を11月20日に開催予定で、参加費等を検討中であることが報告された。
- ・会員・非会員の参加費の差や学会員獲得との関係について意見交換があり、参加費を含め引き続き検討することとした。
- ・論文解説セミナーは2026年12月頃以降の開催を検討中、「有機フッ素化合物（PFAS）と地下水」のシンポジウムは秋季大会との重複を踏まえ開催時期を調整中、であることが報告された。

行事委員会：（資料c報告_04（行））

- ・2026年度春季講演会の決算は仮払い交付金を除くと約47万円の黒字であったことが報告された。
- ・2026年10月29日～31日に東広島芸術文化ホールくららで秋季講演会を開催予定で、一般講演、公開シンポジウム、PFAS汚染関連特別セッション、懇親会、現地見学会を実施予定であり、発表申込締切時点の発表件数は約70件であることが報告された。
- ・2027年春季講演会は5月29日に名城大学で、2027年秋季講演会は10月28日～30日に宮古市未来創造センターで開催予定であることが報告された。

渉外委員会：（資料なし）

- ・「地下水のきほん」の準備を進めていること、8月の台湾の地下水関連学会に日本地下水学会会員2名が参加したことが報告された。

編集委員会：（資料c報告_06（編）-1～4）

- ・J-STAGE Dataの導入について、2027年投稿分からの運用開始を目指し、投稿規程の改正案を編集委員会で継続審議していることが報告された。次回理事会での承認を予定している旨が報告された。
- ・J-STAGE Data投稿に対応するため、投稿システム（EM）にデータファイルおよびメタファイルをアップロードできる機能を追加し、査読・掲載体制を整備する方向で進めていることが報告された。
- ・J-STAGEにおける全文XML登載が2029年度から必須化されることを踏まえ、対応に向けた情報収集を進めていることが報告された。

調査・研究委員会：（資料c報告_07（調）-1～2）

- ・現場透水試験法の海外技術の普及活動に関する研究グループは、9月中の最終原稿校了後、出版社との調整を行い、年度内出版を目指していることが報告された。
- ・国土数値情報と高度利活用調査・研究グループは、水文・水理オープンデータの整理・GIS統合、地下水資料台帳の評価、機械学習・AI活用に関する活動を継続していることが報告された。
- ・PFASによる地下水汚染への対応に関する研究グループは、2つのWGに分かれて活動し、秋季講演会で特別セッションを予定していることが報告された。
- ・令和8年熊本地震に関する現地調査・ヒアリングを8月21日に熊本市等で実施し、地下水や井戸に関する被害・対応状況を確認したこと、関係機関に学会としての協力を申し出たことが報告された。
- ・熊本市の地下水データについて、IGRACへの提供に向けて熊本市の理解を得たため、今後申請書を提出してデータ提供を進めること、併せてIGRACの日本の地下水モニタリングに関する報告書の記載内容を修正したことが報告された。

市民コミュニケーション委員会：（資料なし）

- ・理事欠席、資料なしのため、報告事項なし。

広報・IT委員会：（資料c報告_09（広））

- ・ウェブサイト、SNSアカウント、グループウェアの管理運用および情報発信について報告された。
- ・学会情報システム（Google Workspace等）の利用申請を各委員に周知し、委員全員がアカウントを利用することで安全な情報管理につなげることが推奨された。

YEPS委員会：（資料c報告_10(YE)-1～4）

- ・ 2026年度若手地下水研究助成は6件の応募から2名を採択し、選考を完了したことが報告された。
- ・ 2026年春季講演会で若手交流会を開催し、33名が参加したこと、アンケートでは良好な評価を得たことが報告された。
- ・ 2026年秋季講演会で、初日午前に若手セミナーを開催するほか、前日に若手懇親会を予定していること、今回も保育支援を実施する予定であること、が報告された。

会計委員会：（資料c報告_11(会)）

- ・ 8月21日時点の会員数および会費納入状況、8月18日時点の収入・支出状況について報告された。

表彰委員会：（資料c報告_12(表)-1）

- ・ 学会表彰の年間計画に沿って事業を進めていることが報告された。
- ・ 技術賞・学術賞等について、理事からの推薦を依頼された。
- ・ 学会功労賞について、個人・団体の推薦が総務委員会に依頼された。
- ・ 秋季講演会の表彰式に向け、関係者への協力を依頼された。

総務委員会：（資料c報告_13(総)-1～2）

- ・ 後援・協賛依頼等について報告された。
- ・ 学会のZoom利用について、所定の申請書・資料を事務局へ提出することで利用できる運用を案内された。

監事：（資料なし）

- ・ 中間監査への対応として、各理事に引き続き協力が依頼された。

以上をもって議事を終了したので、議長は 17 時 00 分閉会を宣した。

以上の決議を明確にするため、本議事録を作成し、代表理事及び監事が次に記名、押印する。

2026 年 8 月 31 日

公益社団法人日本地下水学会 理事会